

第4期高知県がん対策推進計画の 中間評価の進め方について

第4期高知県がん対策推進計画(R6-R11)の概要

全体目標

1 がん死亡率の減少

2 がん罹患率の減少

3 がんになっても安心して暮らすことができる

取組の4つの分野と目標

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

現状・課題

- ・喫煙等の生活習慣について更なる改善が必要。
- ・肺がん及び乳がん検診を除き、第3期計画目標の「50%」を達成していない。
- ・職場のがん検診の実態を把握する仕組みがない。

取り組む施策

- 生活習慣の改善に向けた普及啓発
- 科学的かつ効果的な受診勧奨策の推進
- HPVワクチン接種の推進
- 受診率目標を50%→60%に引き上げ
- 職場のがん検診の実施状況の把握
- 学校現場におけるがん教育の推進

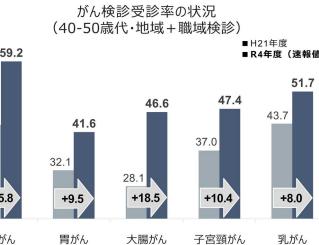
2 患者本位で持続可能ながん医療の提供

現状・課題

- ・中央保健医療圏に拠点病院が集中しているため、周辺機関との連携強化が必要。
- ・質の高いがん医療を提供するため、多職種によるチーム医療の推進が必要。
- ・がん患者の苦痛に対する適切なケア・治療の普及が必要。
- ・小児から高齢者までライフステージに応じた治療及び療養体制が必要。

取り組む施策

- 拠点病院等の機能充実と連携強化
- 緩和ケアの提供体制の強化
- 小児・AYA世代の妊よう性温存治療の支援
- ライフステージに応じた支援の充実



3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

現状・課題

- ・相談窓口の認知度が十分でないため、周知において改善が必要。
- ・がんと診断後、4人に1人が退職又は休職しているため、治療と仕事の両立支援の充実が必要。
- ・治療に対する外見変化（アピアランス）へのサポートが必要。

取り組む施策

- がん患者や家族への情報提供や普及啓発の強化
- 治療と仕事の両立支援のための正しい知識の普及
- アピアランスケアに対する支援の充実

4 これらを支える基盤の整備

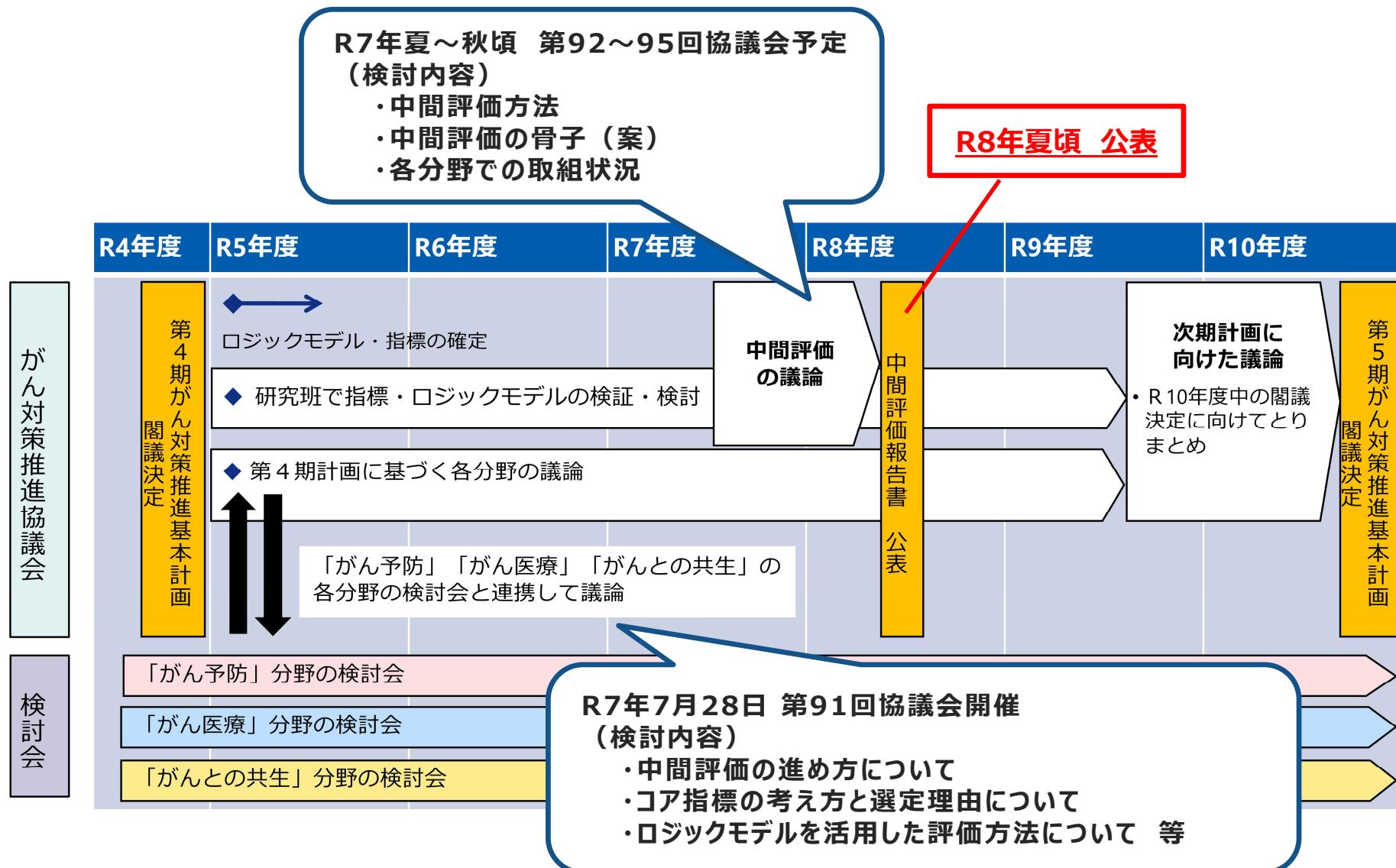
現状・課題

- ・がん医療に携わる専門の医療従事者が拠点病院に集中している。
- ・がん登録情報を活用した、がん対策の企画立案及び評価が必要。
- ・オンラインでの相談支援体制の確保やがん検診受診勧奨などの効率的かつ効果的なサービスの提供が必要。

取り組む施策

- がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成
- がん登録の利活用の推進
- がん検診受診勧奨等のデジタル化

国第4期がん対策推進基本計画のスケジュール



国第4期がん対策推進基本計画の中間評価について(対応方針)

中間評価について、以下の2つを中心に進める。

- ① メリハリのある分析・評価のためのコア指標の選定
- ② 都道府県ごとのがん対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

① メリハリのある分析・評価のためのコア指標の選定

- ・全ての指標を漫然と分析・評価するのではなく、重要な指標に絞ってメリハリをつけて分かりやすい分析・評価をする。
具体的には、「コア指標」をあらかじめ選定し、「その他指標」は測定結果のみを提示し、進捗を把握する

コア指標	指標としての質が高く、アウトカムへの影響も大きい指標 例) 年齢調整死亡率／罹患率、がん種別早期がん割合、検診受診率（国民生活基礎調査）等 ※今後要検討
その他の指標	計画で提示された施策の進捗や効果を把握するために定める指標 コア指標の評価の際に、分析にも用いられる

- ・目標値については、中間評価をふまえてどのように設定することが適切かを検討する。

② 都道府県ごとのがん対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

- ・都道府県ごとのがん対策の進捗を評価するため、都道府県ごとにコア指標を可能な限り測定・公表する。
あわせて、都道府県のがん対策を見える化しながら、地域の実情に応じたより良い取組が横展開しやすくなるような取組を進める。

今後の進め方

- ・コア指標については、中間評価前（令和7年春頃）の協議会で指標案を示し議論する。
- ・令和7年春頃を目処に都道府県単位での評価指標ベースライン値を公表し、協議会に報告する。

第4期高知県がん対策推進計画ロジックモデル

C アウトプット

【予防】

1	禁煙希望者に禁煙してもらう	①県内禁煙外来受診者数
2	生活習慣の改善に向けた取組を進める	①「健康づくりひとくちメモ」の放送回数
3	感染に起因するがん対策を進める	①肝炎治療費助成の受給者証交付件数 ②肝炎医療コーディネーター養成者数 ③HPVワクチンの啓発資材配布数
4	学校現場におけるがん教育を進める	①がん教育実施校数 (県保健体育課調査)
5	がん検診の受診を推進する	①受診勧奨実施市町村数 (国立がん研究センター調査) ②がん検診啓発事業実施数 ③精密検査未受診者への受診勧奨実施市町村数 (国立がん研究センター調査) ④精密検査実施医療機関公表数
6	がん検診の精度向上を進める	①がん予防・早期発見推進事業における研修会実施件数

B 中間アウトカム

1	危険因子となる生活習慣が改善している	①20歳以上の喫煙率 ②受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合 ③生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人）の割合 ④運動習慣者の割合 ⑤野菜摂取量（1日当たり） (県民健康栄養調査)
2	がんの原因となる感染症が抑制されている	①肝炎検査の受検者数 ②肝炎陽性者の精密検査受診率 ③HPVワクチン接種率 (地域保健・健康増進事業報告)
3	科学的かつ効率的な受診勧奨を行い、検診受診率が増加している	①がん検診の受診率
4	精度の高いがん検診が実施されている	①がん検診の精密検査受診率 (地域保健・健康増進事業報告、県健康対策課調査) ②市町村チェックリスト実施率

A 最終アウトカム

1	がんの死亡率が減少する	①75歳未満がん年齢調整死亡率 (人口動態統計) ②がん種別5年生存率 (全国がん登録)
2	がんの罹患率が減少する	①年齢調整罹患率 (全国がん登録)

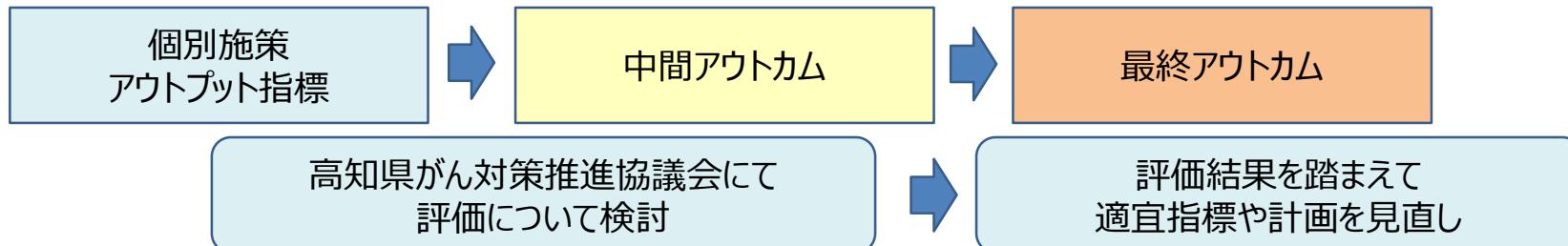
【医療】

7	拠点病院等の機能充実が図られる	①がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金補助先
---	-----------------	--------------------------

第4期高知県がん対策推進計画における進捗管理

国の中間評価を参考にしつつ、R8年度に県計画の中間評価を行うこととする
県保健医療計画（R6-R11 ※ 5 疾病の1つに「がん」が含まれる）も
R8年度に中間見直しを予定しているため、併せて指標や本文の見直しを行う

＜中間評価のイメージ（案）＞ 各指標の評価 + 各取組の実績 = 事業の評価



R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
★中間評価	○進捗評価	○進捗評価	★最終評価
・がん診療体制調査	・患者満足度等調査 ・県民世論調査		・患者満足度等調査 ・県民世論調査 ・がん診療体制調査

「○進捗評価」…アウトカム指標と個別施策の実施状況等を基に評価し、取組の推進に向けてご助言等をいただく
「★中間評価」「最終評価」…アウトプット指標も含めた全ての指標を確認し、施策の適切性や今後に向けた課題点を確認する